

吹田市南保育園における市長との懇談の概要

開催日時	平成27年（2015年）6月13日（土） 午前10時～午前11時40分		
出席者	南保育園保護者（45名） 市長、こども部長、子ども育成室長	開催場所	南保育園 遊戯室
<p>〈内容〉</p> <p>事前にいただいた御質問について、市の考え方をまとめた資料に基づき、担当から説明を行った後、市長の話や御出席の保護者皆様との意見交換等を行いました。</p> <p>発言の趣旨は以下のとおりです。</p> <p>市長 5月14日に初登庁し、まず、こども部からヒアリングを始めました。1か月経ちますが最も回数、時間を重ね協議をしています。</p> <p>前の市長の財政非常事態宣言を基にした政策は他の事も全部見直しています。まず、何で民営化しなければいけないのか、どこで決まったか、何を動かして何を動かさないのか一つひとつ確認していきました。市長は、市の一機関で、決定権は議会にあります。市には提案権があります。提案をするかしないかを最終的に決めるのが市長です。</p> <p>民営化の方針を前の政権が決めました。じゃあ全部決まったかという私はそうは思っていませんし、不安が解消できているとも全然思っていません。</p> <p>一つは、民営化されることによって質が落ちるんじゃないかという不安に対し、しっかり応えてくれるかどうか。もう一つは1園、2園、2園、3か年やった時に厳しく見ないといけない。市も、園長も保護者の方々もチェック、運営する事業者も自らチェック。そういうことをやってみて質的に決定的に問題があれば民営化失敗です。改善すべき点があればそれは指導し、よかった点は評価する。そういうことをしないとイケない。</p> <p>事前にいただいたご質問「看護師の配置はどうなるのか」への市の回答、もう一つははっきりしてないと思いませんか。「事業者が取り組みやすくなるよう財政的な支援を行っていきます。」というややこしい書き方していますね。民営化の実施にあたって、事業者に看護師を必ず置くようにさせていただきます。</p> <p>それからもう一つは、荒っぽい。スケジュールが先にありきで納得してくださいという説明ばかり、全然時間が与えられない。平成29年度からの民営化に向けて遡って予定を決めている。この9月末までに移管先の選定を終えることが皆さんが一番引っかかっていらっしやるのではないかと感じています。私は、このスケジュールを見直したいと思っています。スケジュールは議会の議決ではないのですけど議決に至る条件として議会に提示しています。</p>			

理解を得ながら対話と傾聴ということを前面に出して市長になりました。このケースについてそれができているとは思いません。そういう意味でこのスケジュールを見直しさせてもらいたい。

今度は南保育園だけの話ではなくなりますが、市とこども部が進めようとしているのは、10年後、20年後を見据えた話です。吹田市の公共建築物、昭和40年代から50年代に一齐に造られ、当たり前ですが一齐に老朽化しています。今後10年、20年でいくらかかるが試算していますが、このままでは間違いなく破綻します。民間の力をお借りしないと待機児解消どころか待機児が増えていきます。

さらに、少子化といいながら入りたい保育園に入れなかったので預けるのを我慢している隠れ待機児童もいる。私は、並行して質の問題に取り組みたい。それにはものすごくお金もかかりますし、1年2年でできることはありません。かれこれ40年以上経っている長い経過を持っている政策を変えるというのは、いろんなことが起こりますが、一つひとつ取組んで行かなければいけません。その一つ目が5園の民営化です。その結果を受け、正しかったかどうかを検証していきます。

一方的にお話しましたが、「スケジュールについて焦りすぎないこと。」事前にいただいた御質問を読ませていただいて、最も引っかかっておられるところだと思い、最初に説明させていただきました。

保護者A 我々が思っている質と、市が言う質は一致しているんですか。

市長 形が見える質と見えない質があります。今、見えない質のことおっしゃっていますよね。見えない方を言葉で表すとどういうことになりますか。

保護者A 保育士のマンパワーって言いますか、そういう話になってきます。同じ年数を働いたら同じことができるかというそれは違う。

市長 経験値みたいな。南保育園の保育士はいろんなケースを経験しているし、若い経験2、3年目の保育士が敵うはずがないですよ。「一旦落ちる。」そこは素直に認めないといけない。

保護者B アレルギーや配慮を要する子どもたちのことを含め、公立保育園の必要性を考えていただきたい。子どもたちに必要な保育は守らなければならないと思います。質の向上をというなら、民間の質をもっと上げてからでも遅くない。子どもの心ほどデリケートなものはないです。公立保育園でしかできないことをもっと考えていただけたらと思います。

市長 官から民になる。環境が変化する。幸い施設はかわらないが、スタッフが変わる。そのときにしっかりと子どもに不安を与えずにケアできなかつたら、私は、プロではないと思います。民で頑張っている保育所もかなりありますが、公でないことができないことは明らかにあるということです。公があるからこそ支えることができる、公の役割って何なんだということがポイントだと思います。

民営化すると国から補助がでますが、公にはありません。少々の差なら市で吸収できますが、1億5千万円かかるところ9千500万。約1億円を国がみると言っています。お金がかかっても守るべきものはあるでしょうが、全部は多分守れない、それくらい大きな流れにさらされているということです。

保護者C うちの子が0歳児のとき南保育園の先生から「ちょっと発達が遅いかな」とお話があって、その時はとてもショックでしたが、先生から子どもが安心していきいきと過ごせる環境作っていきましょうと言われ、子どもの成長を見てくれているということが実感でき、本当に南保育園の先生は素晴らしいと思っています。

保護者D 事前配付資料の「安心できる引継ぎに向けて」の内容は、全部ぼやかした書き方で、具体的に書いてあることが一切ないんです。それが不安、不満になります。保護者としての意見が入る隙間がなく、決定した内容を持って来られるのではないかという不満があります。

市長 9月末に結論を得てという予定でいくと、もう選定委員会の開催のリミットです。選定委員会はすごく大事です。様々な立場の方が入った会議の中で、さっき言われた目に見えない質について意見を言えるのは、今南保育園に預けておられる皆さん以外には無いです。保護者枠2人に参加お願いしたいのです。

委員を出すことで民営化が一気に進むのではなく、進める上で重要なポイントになると御理解ください。

保護者D 他の委員の方が詳しい専門家だったりすると保護者の思いが通らない部分があると思います。元公立の保育園の園長経験者や職員などを別枠で今から入れるというのは難しいことですか。選定委員会で決断が必要なとき、多数決で保護者の思いが入らなくなるというのはどうなのか、という意見があります。

こども部長 委員の人数を増やすためには予算を増やすプロセスを踏むということが考えられますが、それよりも保護者の委員が1人2人であったとしても、議論して納得してもらって進めるというやり方、多数決で押し切るイメージでとらえられないような運営にします。

市長 委員2人を出すというのは代表的なやり方ですが、2人の委員で声を届ける自信がないということについては、選定委員会が意見を聴く場を設けるという方法や、文書を選定委員会に出すという方法があります。賛成、反対だけを聴くというそんな会じゃないので、何を入れ込んでいかないといけないのかということを伝える重要な役割を果たしていただくという視点で2人出していただければ次の段階にいけるとお思いますので、よろしくお願ひします。